



公共施設の現状 と課題等について

2025(令和7)年5月30日
総務部財政課



公共施設適正化懇談会とは

(1)目的

酒田市公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設の適正化を進めるため、2023(令和5)年度より施設を利用する団体等の意見を聴取し、施設の在り方(適正化)を検討するために酒田市公共施設適正化懇談会(以下「本懇談会」という。)を開催

(2)過去の開催状況

年度	分野	主な意見、検討結果
2023 (令和5)	社会教育施設	- 出羽遊心館及び松山城址館は新たな使い方を促すなど利用促進に努め、一定の効果が見られない場合は施設の在り方も検討する必要がある - 清亀園は維持管理費削減のため、利用予約がある場合のみ開館を検討する(実施済み)
2024 (令和6)	松山・平田地域の公共施設	公共施設の適正化に向けた基本的な考え方 ① 速やかに取り組むべき方向性 ア 施設の統廃合と複合化による施設保有量の適正化 イ 利用者の利便性を考慮した段階的なアプローチ ウ 全市的な統廃合・複合化の拡大 ② 今後検討が必要な課題 総合支所機能の在り方、コミュニティセンターの組織と施設の在り方

1. 酒田市における公共施設の現状
2. 酒田市の財政状況
3. 酒田市の公共施設適正化の取り組み
4. これからの公共施設の適正化に向けて

1. 酒田市における公共施設の現状

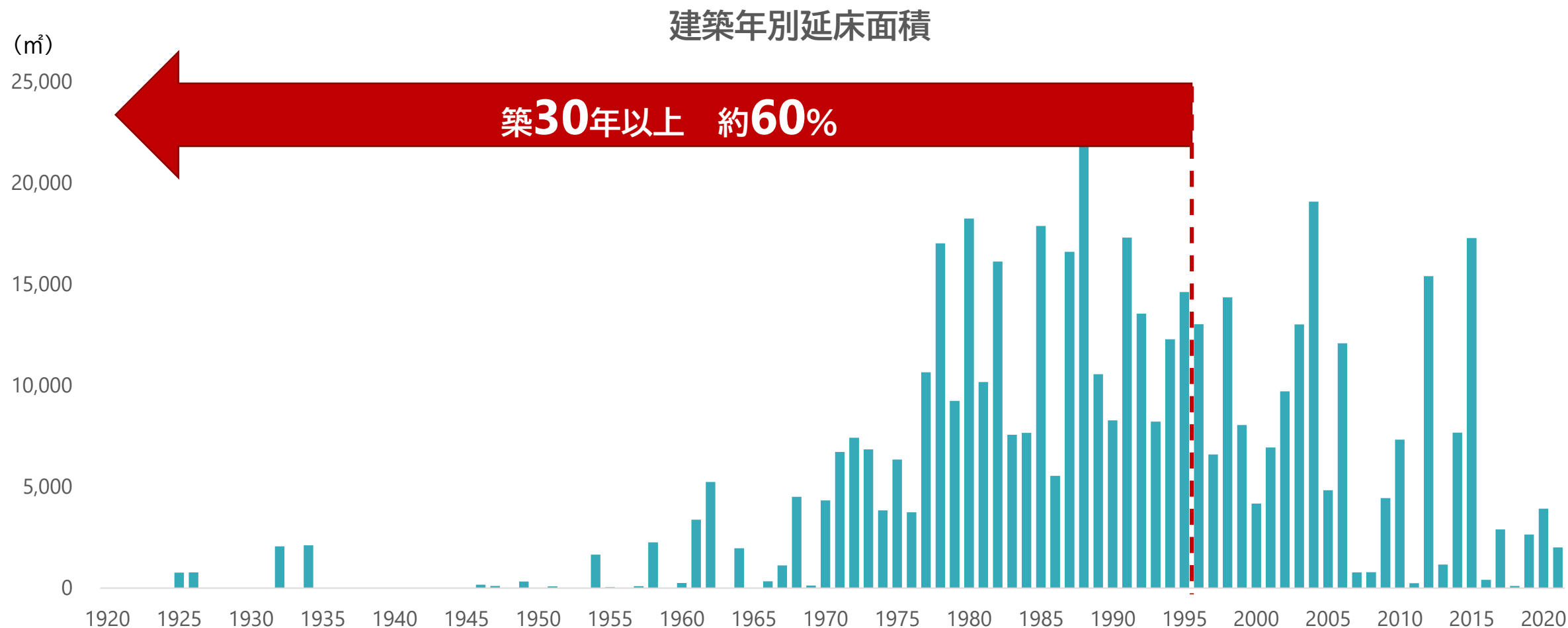
2. 酒田市の財政状況

3. 酒田市の公共施設適正化の取り組み

4. これからの公共施設の適正化に向けて

(1)集中している建設時期

- 酒田市では、1970年代から1980年代にかけて学校教育施設を中心に現在の公共施設の約42%を占める多くの施設が整備されました。
- 一斉に建設されたため、築30年を経過する施設が60%以上になるなど、一斉に老朽化する時期が訪れています。



(2)一人当たり延床面積

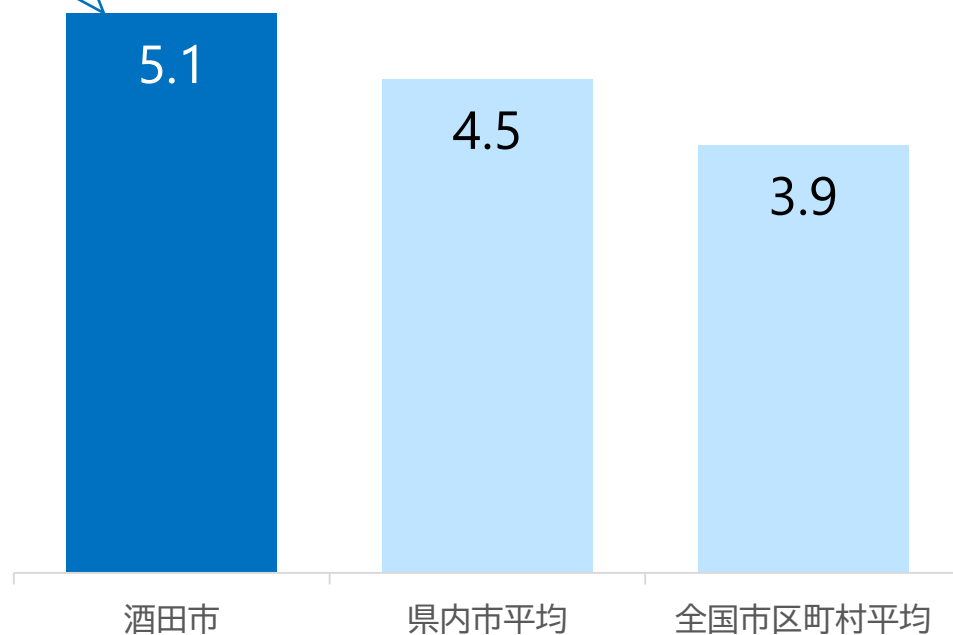
出典：酒田市公共施設等総合管理計画、公共施設状況カード

- 本市の公共施設の人口一人当たり延床面積は5.1㎡/人(2023年度末)であり、県内13市や全国と比較しても多くの公共施設を保有しています。
- 一人当たりの延床面積でみると、八幡・松山・平田地域は、酒田地域の面積を大きく上回っています。

一人当たり延床面積の比較(2023年度末)

(単位:㎡/人)

建替え費用で比較すると、全国平均より404億円※、県内市平均より202億円多くなる

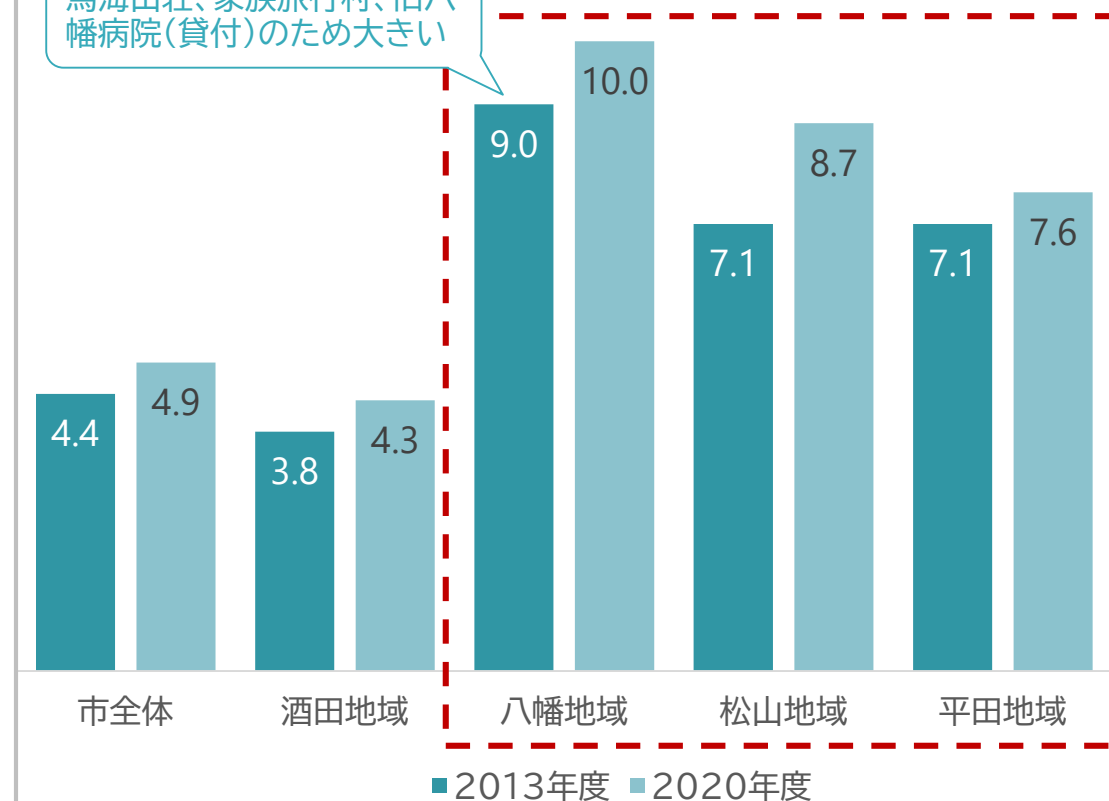


※: 1.2㎡/人×93,719人×36万円≒404億円、0.6㎡/人×93,719人×36万円≒202億円

地域別一人当たり延床面積

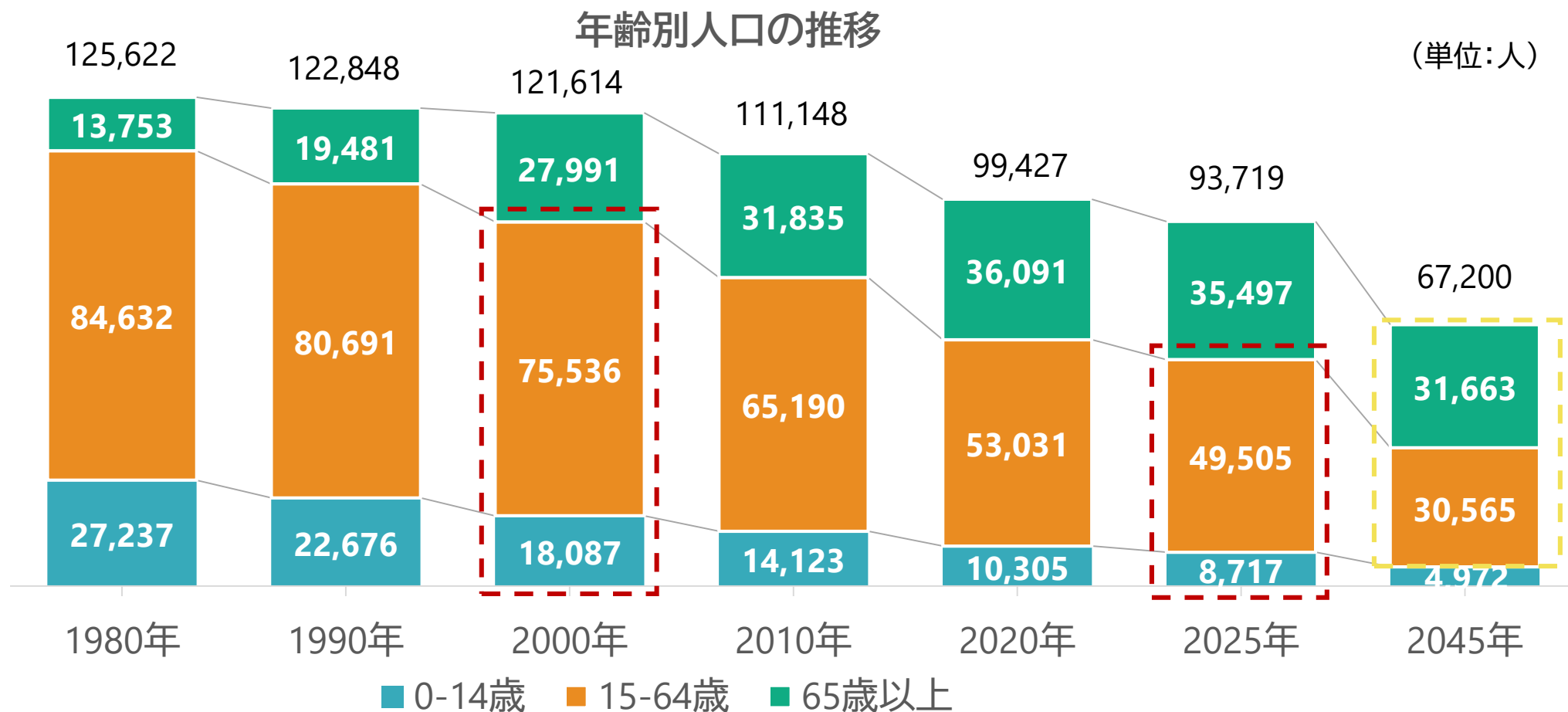
(単位:㎡/人)

鳥海山荘、家族旅行村、旧八幡病院(貸付)のため大きい



(3) 急激に進む人口減少

- 2000年と2025年を比べると生産年齢人口(15-64歳)は約2万6千人も減少し、年少人口は半減します。
- 2045年には、働く年代の人1人が65歳以上の人1人を支える時代が到来します。社会保障関係費の増加により、公共施設の改修・更新等に充てる財源が減少することが見込まれます。



(出典)2020年までは「国勢調査」のデータに基づく年齢不詳を除いた値、2025年は住民基本台帳、2045年は国立社会保障・人口問題研究所のデータに基づく推計値。

1. 酒田市における公共施設の現状

2. 酒田市の財政状況

3. 酒田市の公共施設適正化の取り組み

4. これからの公共施設の適正化に向けて

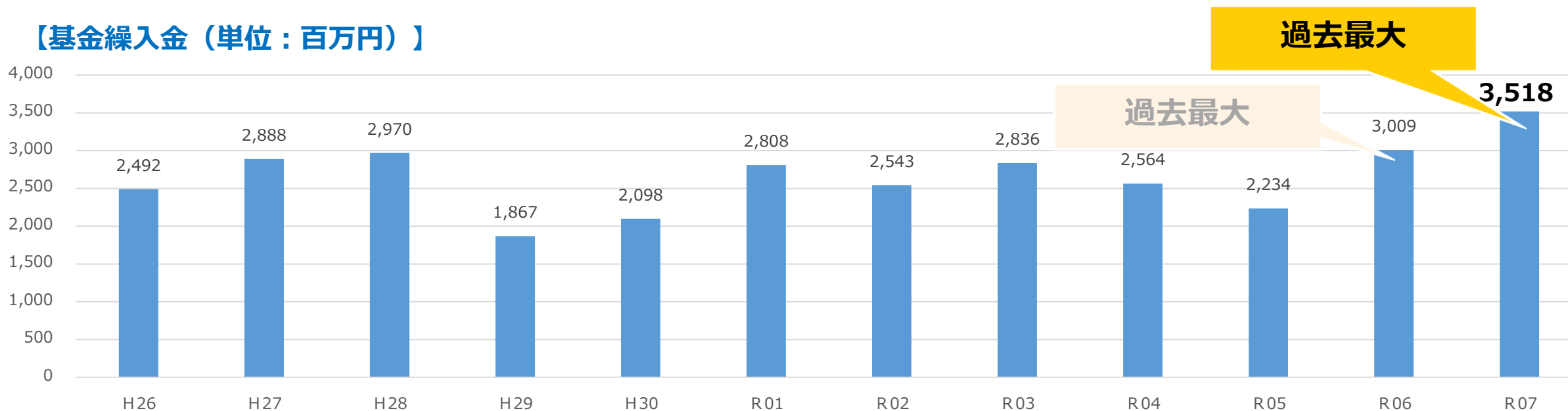
当初予算の推移

○予算規模と基金繰入の推移 **\\ 予算規模と基金繰入金ともに過去最大 //**

【予算規模（単位：億円）】



【基金繰入金（単位：百万円）】



令和7年度の当初予算編成では、災害復旧や、 人件費増、物価高騰を受け、予算規模が大きく拡大

○予算規模が前年度比54.5億円（以下（）が一般財源：約5.3億円）増

○大きな要因は、

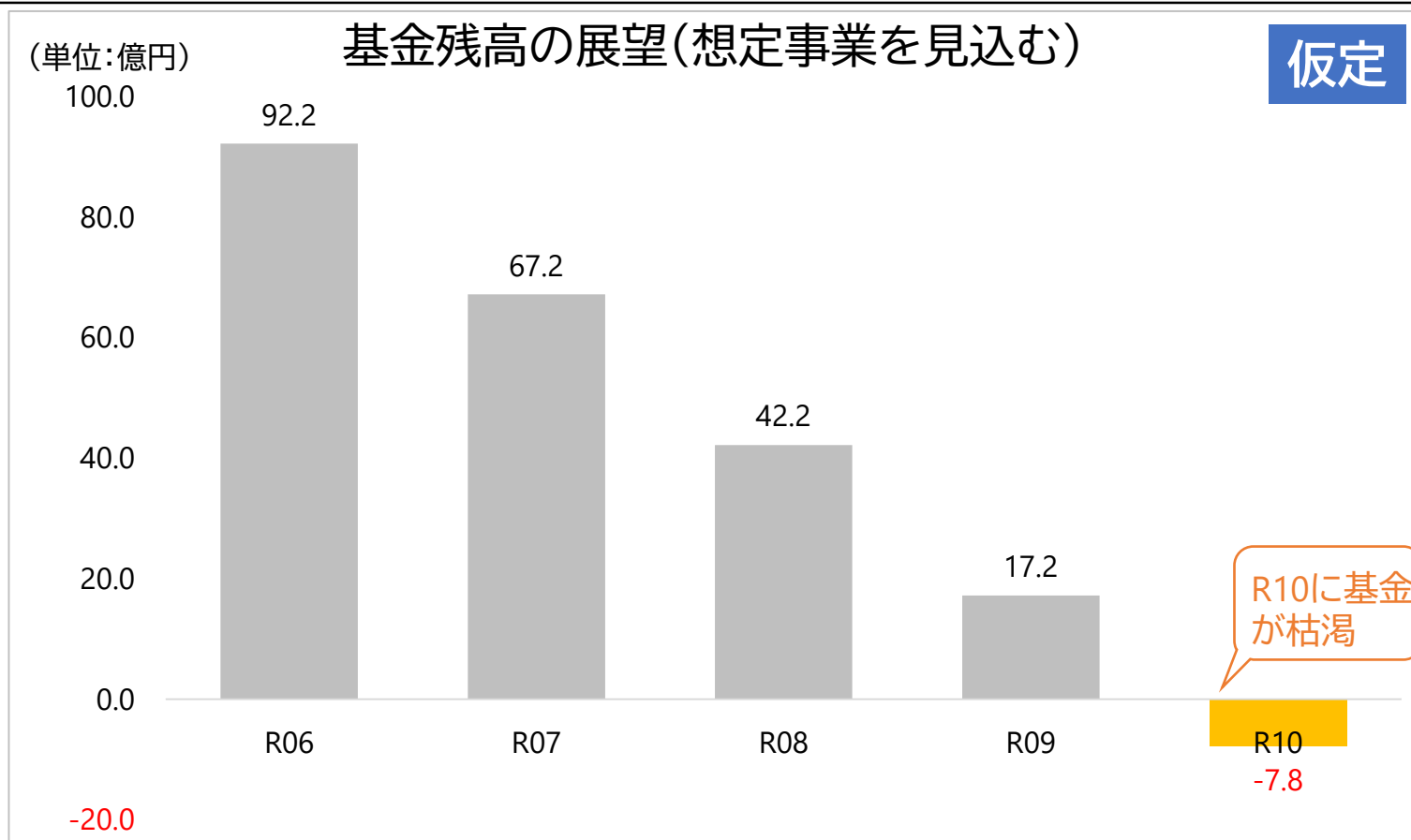
- ・ 災害復旧に係る経費で約**27億円**（約1.6億円）の増
- ・ 地方独立行政法人病院事業長期貸付金が約**10億円**の増
- ・ キャッシュレス決済ポイント還元キャンペーン業務委託料が約**2億円**の増
- ・ 人件費、物価高騰の影響を受け、物件費が約**5.9億円**（5.9億円）増、扶助費が約**10.2億円**（約1億円）増、補助費等が約**3.3億円**の増
- ・ 普通建設事業費（施設の改修）が約**4.5億円増** となったことによる。

○一方で、公債費が約**6.5億円**（5.6億円）の減、繰出金が約**1.4億円**（1.6億円）の減
⇒歳出の増を吸収するまでに至らず

▶歳入の増が見込めなかった（普通交付税の減額、ふるさと納税寄附金の減額など）ため、歳出の増額分と歳入の減額分を基金の繰入で調整＝基金の減少

今後10年間の想定事業を踏まえた基金残高の見通し

- 2026(令和8)年度から2034(令和16)年度にかけて、文化・体育施設、コミュニティセンター、義務教育学校、学校等の改修に加え、雨水対策や酒田地区広域行政組合関連事業などが予定されており、必要最小限の前提でも**事業費は326億円を超える見込み**です。
- あくまで仮定の話ですが、2025(令和7)年度予算を基準に、上記の想定事業を見込んだ上で、ふるさと納税を毎年35億円と仮定して試算した結果、**2028(令和10)年度には基金が枯渇**する見通しとなります。



歳入確保の取り組み

内 容	年間効果額
① 使用料の見直し ※令和7年度実施済み	0.15億円
② ネーミングライツ ※令和6年度実施済み	0.10億円
③ 法定外新税 ※宿泊税、再エネ新税等	現実的には ほぼ困難か
④ ふるさと納税の増加	17.5億円 (倍増の場合)
⑤ 産業振興による市民税、 固定資産税の増	すぐに税収には 反映されない

歳出削減の取り組み

内 容	年間効果額
① 公共施設の適正化 ※完了時。あるものを生かす、兼ねる	5.5億円
② 職員数適正化方針 ※完了時。令和9年度までに△61人	4.0億円
③ 予算の一律削減 ※マイナスシーリング	15.0億円 (3%の単純計算)

- 現在の酒田市の財政は、基金に大きく依存した構造になっています。
- この構造を見直すには、**公共施設の適正化が不可欠**です。
- 人口規模や財政状況に見合った適正な数の公共施設とすることで、市民サービスを維持し、**子どもたち(将来世代)に過度な負担を残さない**ことが重要です。

1. 酒田市における公共施設の現状

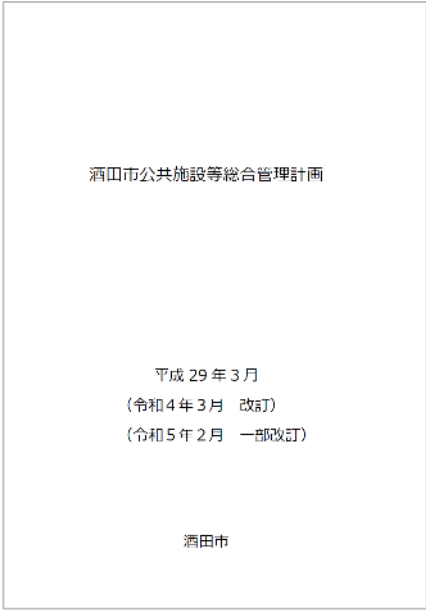
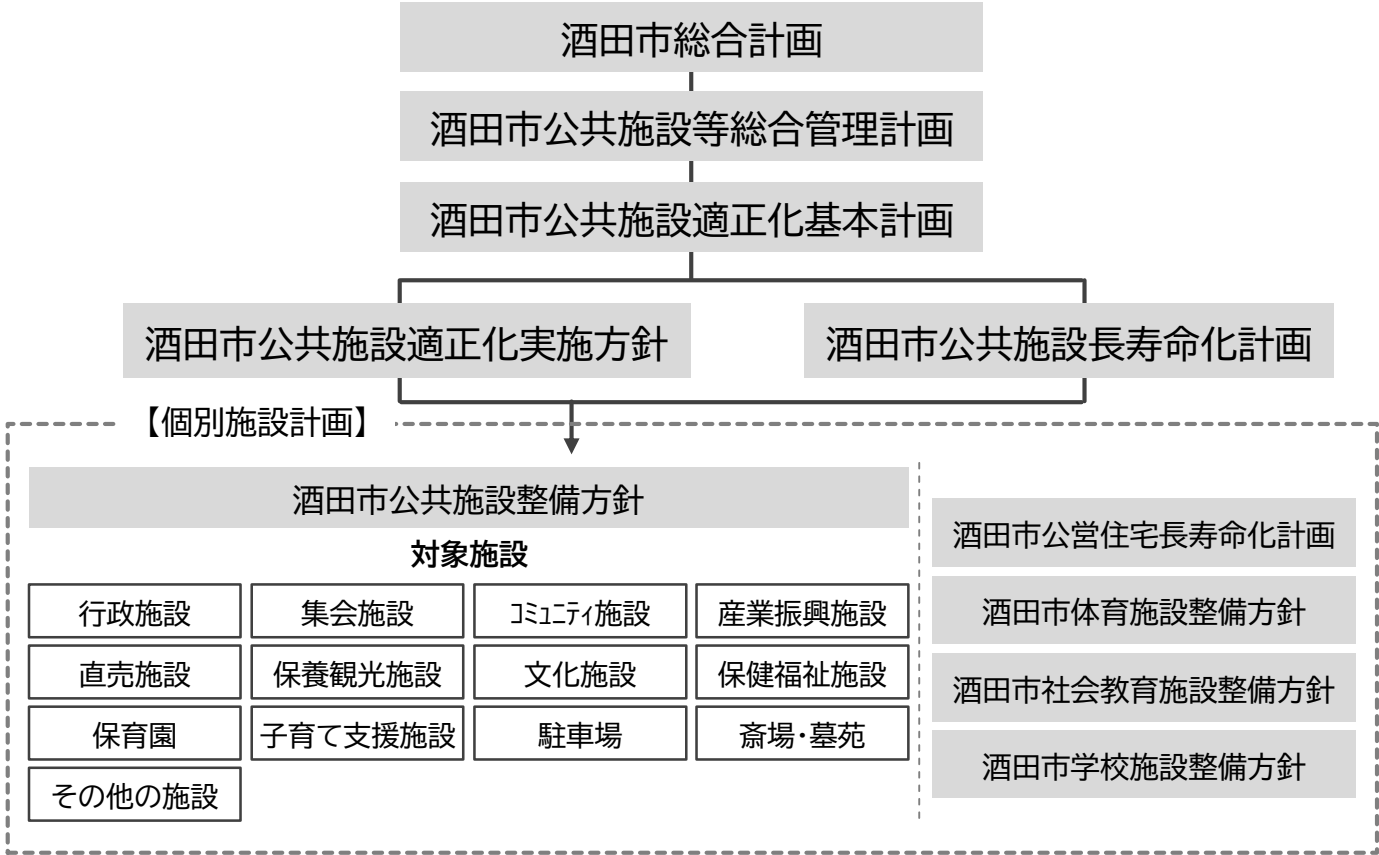
2. 酒田市の財政状況

3. 酒田市の公共施設適正化の取り組み

4. これからの公共施設の適正化に向けて

公共施設適正化の各種計画の策定

- 2012(平成24)年12月の中央自動車道笹子トンネル天井落下事故を受け、国はインフラ長寿命化基本計画を策定し、本市もそれに基づき各種計画を策定しました。
- 現在保有している公共施設をすべて維持・改修・更新し続けることは非常に困難な状況にあります。そのため、本市では次世代に過剰な負担をかけないよう、各種計画を立てて公共施設の管理に取り組んでいます。



公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針

公共施設等総合管理計画

基本方針

1

将来世代に負担
を残さない



将来の財政状況や人口推移を踏まえ、公共施設やインフラの適正化を進め、将来世代に過度な負担を残さないよう、施設の数、規模、配置の見直しを行います

2

質の高いストック
を継承する



市民のニーズや社会状況を反映し、安全・安心で質の高い公共施設やインフラを次世代に継承します

3

まちづくりとの
連動を図る



総合計画や関連計画と連動し、本市の将来のまちづくりに資する公共施設やインフラを再編します

公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針

3原則

【原則 1】 量的マネジメント -施設総量の削減-

厳しい財政状況と人口減少により、すべての公共施設を維持することは困難です。市民ニーズの変化に対応するため、施設機能の見直しや統廃合を進め、必要な施設機能を維持しつつ健全な財政運営を目指します

① 施設の複合化・多機能化

② 施設の統廃合

③ 新設の抑制

【原則 2】 質的マネジメント -サービスの向上-

少子高齢化や女性の社会進出などの変化により、公共施設に求められる機能が変化しています。バリアフリーや温暖化対策、耐震性向上など、多様なニーズに応じた施設の安全性と機能性を確保するための取り組みが必要です

① 耐震性の確保、防災力の向上

② ひとや環境にやさしい公共施設の実現

③ 機能性・利便性の確保・向上

【原則 3】 財政的マネジメント -運営等の効率化-

公共施設の市民サービスを提供するには、運営コストが必要です。健全な財政を維持しつつ、変化する市民ニーズに対応するため、建物の改修や建替え費用だけでなく、運営コストの効率的な執行が求められます

① 予防保全による施設の長寿命化

② 公民連携等による経費の抑制

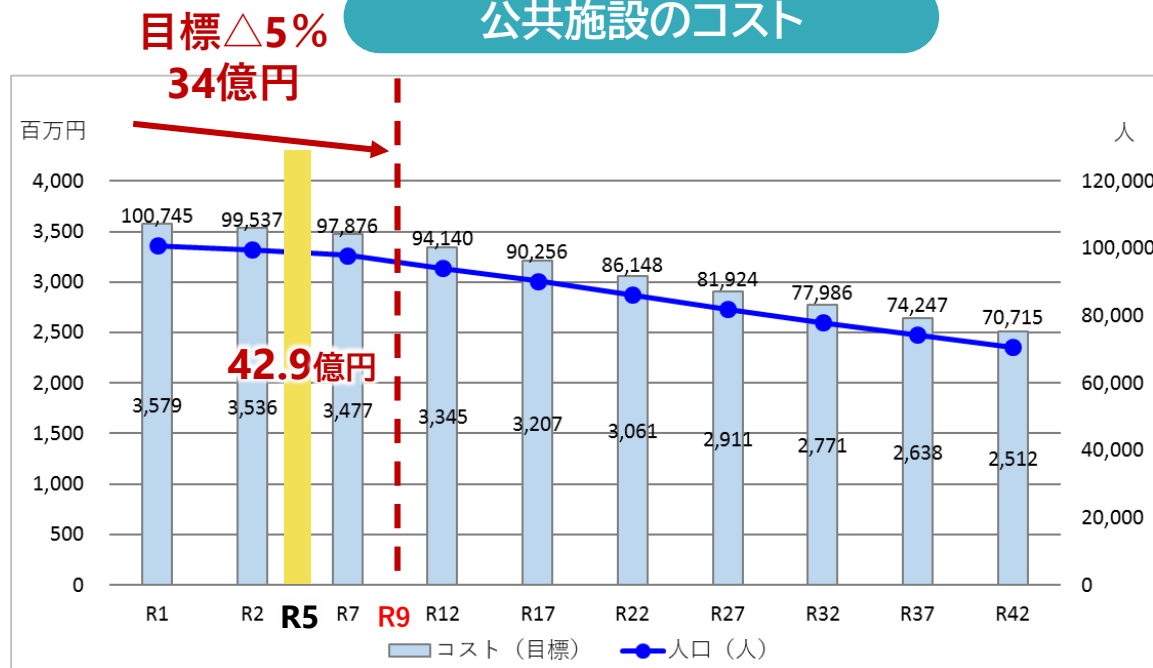
③ 施設管理・運営の継続的な見直し

公共施設のコストと延床面積の現状

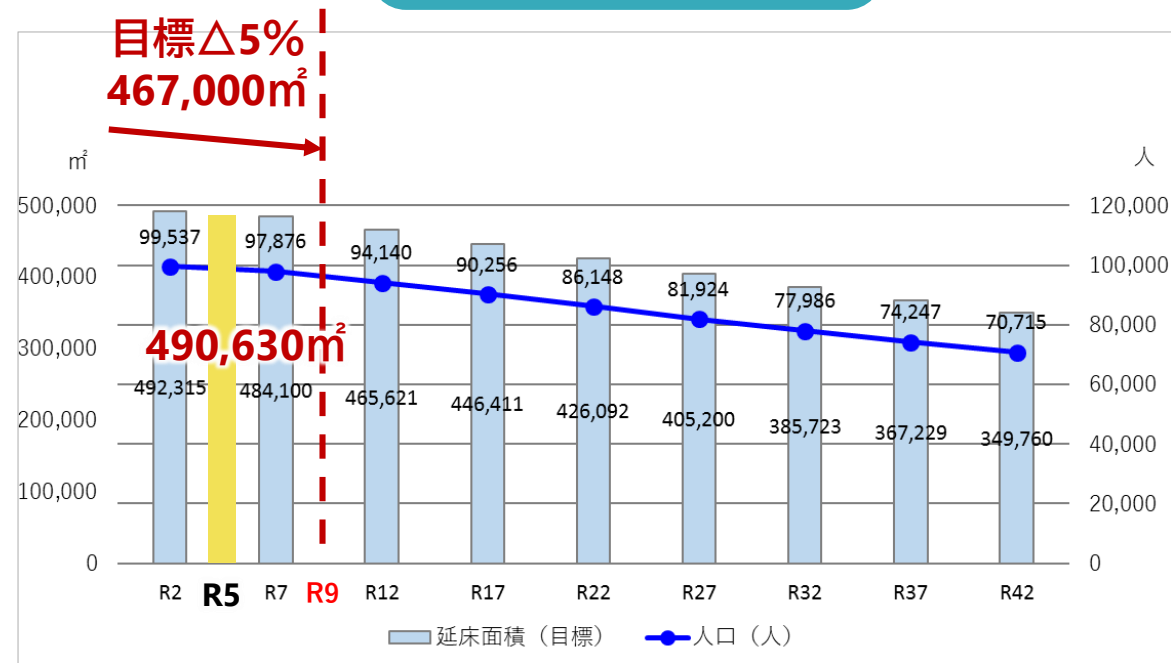
出典: 酒田市公共施設等総合管理計画

- 2030(令和12)年度の人口が2019(令和元)年度と比較して5%減少する見込みであることから、公共施設のコスト及び延床面積についても、同様に5%の削減を目指しました。
- 公共施設コストは、人件費、光熱費等の上昇に伴い、当初の計画を上回っています。また、延床面積の削減も計画どおりに進行していないため、2027(令和9)年度の目標達成は困難です。
- 公共施設適正化の取り組みとして、基本計画を策定した2014(平成26)年度以降、110件の統廃合等を行ってきましたが、2023(令和5)年度末の延床面積は490,630㎡(平成25年度末比12,104㎡の増)となりました。

公共施設のコスト



公共施設の延床面積

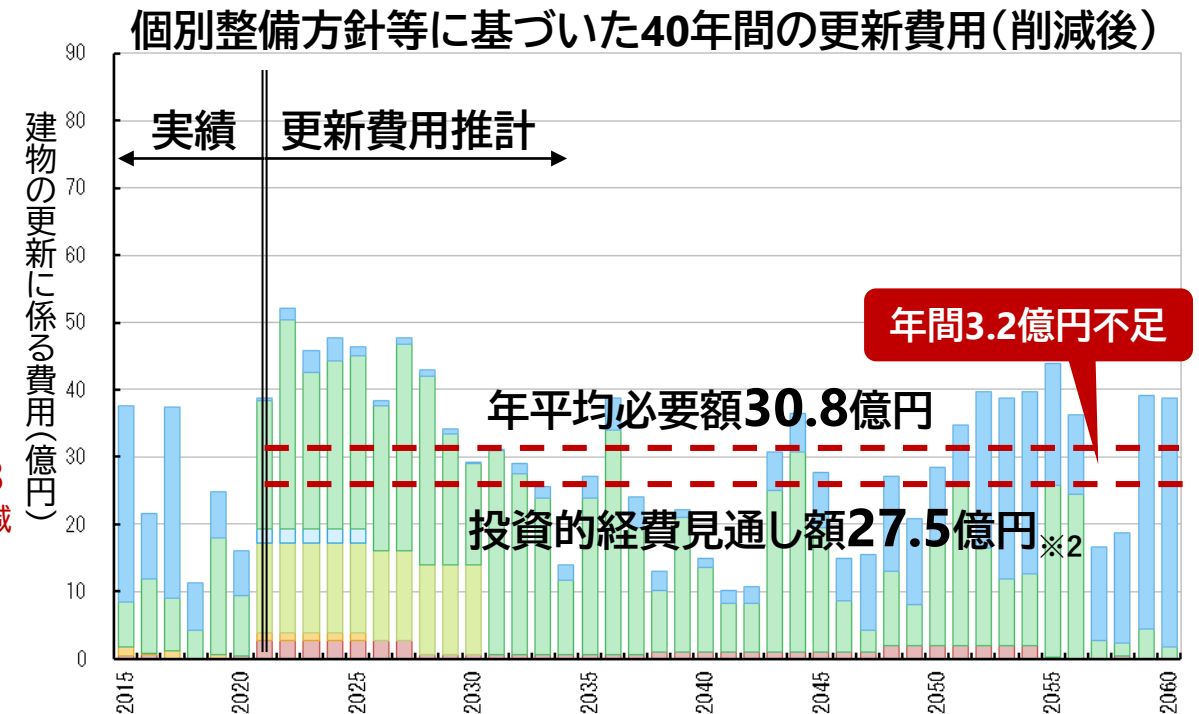
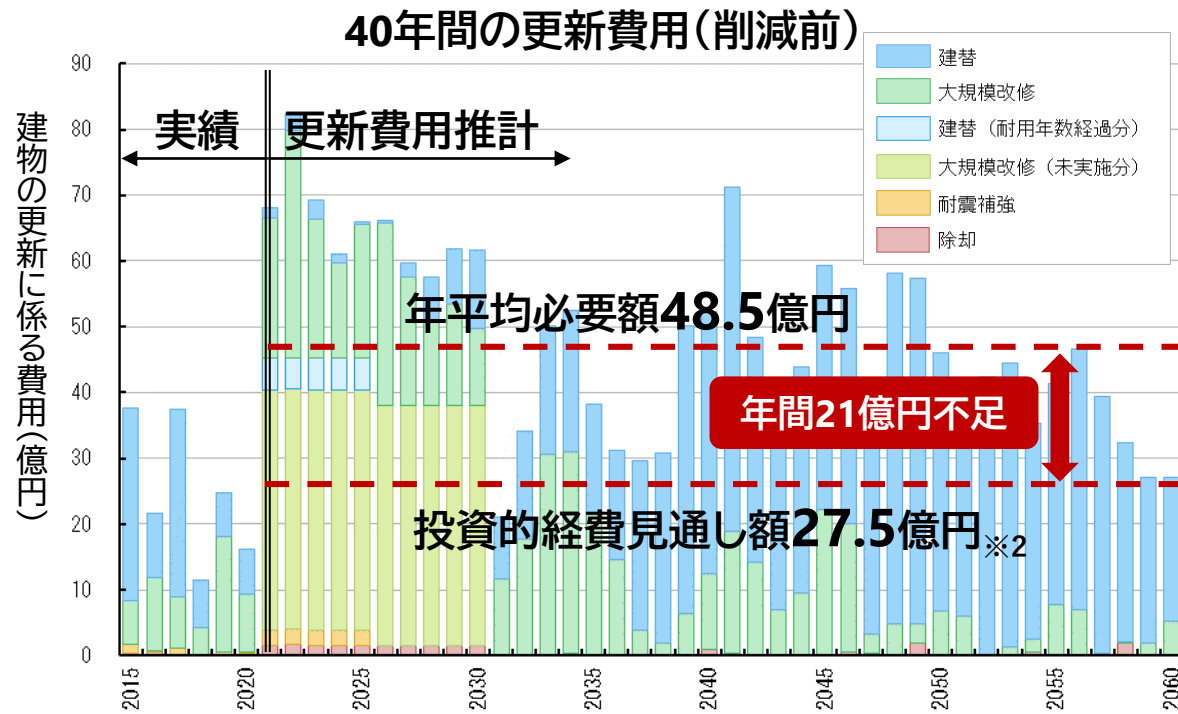


- ✓ グラフは数値目標。ただし、R5のみ実績
- ✓ 公共施設のコストは常勤職員の人件費及び工事請負費を除き、事業運営費を含む
- ✓ 1㎡当たり8,700円のコスト

公共施設の将来更新費用の試算

出典：酒田市公共施設等総合管理計画

- 現在保有している全ての公共施設を今後もそのまま維持する場合、2021年から2060年の40年間で1,939.8億円（年平均48.5億円）※1の更新費用が必要となり、投資的経費見通し額と比較すると年間21億円が不足します。
- これまでに策定した実施方針や各個別施設整備方針に基づき、施設の統廃合や長寿命化を実施した場合、40年間で1,231.3億円（年平均30.8億円、37%削減）の更新費用が必要となり、投資的経費見通し額と比較すると年間3.2億円が不足します。



※1：公共施設更新費用資産ソフトによる試算

※2：酒田市中期財政計画(令和3年2月作成)における令和7年度の投資的経費見通し額

対象施設一覧

※2020年度末時点

施設用途		施設数	主な施設
大分類	中分類		
行政施設	庁舎等	7	本庁舎、支所、分室等
	その他行政施設	14	車庫、倉庫等
生涯学習施設	生涯学習施設	8	公益研修センター等
集会施設	集会施設	18	市民会館、中央公民館、八幡交流ホール等
コミュニティ施設	コミュニティ施設	39	コミュニティセンター等
	防災資機材庫	22	防災資機材庫等
産業系施設	産業振興施設	5	スマート農業研修センター等
	直売施設	4	産直たわわ、めんたま畑等
保養観光施設	保養観光施設	11	観光物産館、八森温泉等
文化施設	博物館等	9	美術館、資料館等
	図書館	6	光丘文庫、図書館・分館等
スポーツ・レクリエーション施設	スポーツ・レクリエーション施設	43	国体記念体育館等
保健福祉施設	保健福祉施設	7	健康センター等
	医療施設	—	
子育て支援施設	保育園	7	保育園
	子育て支援施設	18	学童保育所、児童センター等
学校教育施設	小学校	23	小学校
	中学校	8	中学校
	その他学校	1	看護専門学校
	その他教育施設	4	給食調理場、教育センター等
市営住宅	市営住宅	25	市営住宅
その他施設	駐車場	3	中央地下駐車場等
	斎場・墓苑	5	斎場、やすらぎ霊園
	職員住宅	6	職員住宅
	その他行政財産	275	公園作業員詰所等
使用していない施設	使用していない施設	58	使用していない行政財産・普通財産
公園	公園建屋	17	
合計		643	➡630施設(2023年度末)

公共施設の収入と支出

(単位:千円)

施設分類	使用料(A)	減免額(B)	使用料収入(A-B)	その他収入	収入計
行政施設	2,095	2,092	3	16,391	16,394
生涯学習施設	13,788	9,717	4,071	235	4,306
集会施設	49,720	22,796	26,924	6,809	33,733
コミュニティ施設	44,433	37,776	6,657	7,915	14,572
産業系施設	930	68	863	4,421	5,284
保養観光施設	20,196	0	20,196	36,486	56,682
文化施設	1,786	591	1,195	26,917	28,112
スポーツ・レクリエーション施設	29,515	11,209	18,306	1,040,404	1,058,710
保健福祉施設	12,115	3,122	8,993	17,288	26,281
子育て支援施設	0	0	0	143,321	143,321
学校教育施設	22,365	8,153	14,211	947,565	961,776
その他施設	66,012	4,603	61,409	10,811	72,220
合計	262,955	100,127	162,828	2,258,563	2,421,391

➡支出42億円に対し、使用料収入は1.6億円と極めて少なく、歳入歳出の不均衡が顕著

(単位:千円)

施設分類	燃料費・光熱水費	修繕費	委託料	工事費	その他	事業運営経費	計(工事費除く)
行政施設	66,412	11,985	97,319	5,610	20,983	7,284	203,983
生涯学習施設	9,692	4,947	70,306	0	7,428	0	92,373
集会施設	73,093	15,166	156,560	0	59,583	8,728	313,130
コミュニティ施設	36,282	22,236	161,427	0	6,933	0	226,878
産業系施設	4,589	2,002	13,672	0	435	278	20,976
保養観光施設	9,237	15,809	69,752	33,979	7,538	0	102,336
文化施設	21,318	3,784	213,286	52,558	23,381	252,101	513,870
スポーツ・レクリエーション施設	34,492	22,727	278,163	1,684,221	18,175	0	353,557
保健福祉施設	30,869	5,064	52,404	11,385	25,000	63,517	176,854
子育て支援施設	33,098	2,544	8,129	9,240	10,754	499,291	553,816
学校教育施設	240,738	57,257	88,439	557,145	257,610	923,611	1,567,655
その他施設	34,410	8,659	44,445	0	9,881	4,263	101,658
合計	594,230	172,180	1,253,902	2,354,138	447,701	1,759,073	4,227,086

※コスト計算書に不記載の支出は除く

適正化の手法

手法	内容	再配置の手法パターン(イメージ) (現状) (変更後)
統合	同一機能の複数施設をより少ない施設規模や数になるよう一施設に集める。	
複合化	- 建替え等に伴い、余剰・余裕スペース等を活用し、同一建物に異なる機能の施設を複合的に整備する。 - 敷地の規模や立地等を踏まえて必要な機能を複合化する。	
転用	- 建物の転用可能な余剰部分に施設の改修を施して、異なる機能を導入する。 - 施設の稼働状況の低下や空きスペースの増加を踏まえ、用途を転用する。	
類似機能の共有化	設置目的は異なるが、集客室等の類似する機能を持つ複数施設を利用状況や近接性等を考慮して統合	

手法	内容	再配置の手法パターン(イメージ) (現状) (変更後)
民間施設の活用	- 周辺の民間施設を借り上げて、公共サービスを提供 - 該当する公共サービスを民間施設で提供可能な場合等に活用する。	
実施主体や管理運営主体の変更	- 余剰スペースを民間等へ貸付し、貸付料収入を得る。 - 事業の実施主体や管理運営主体を民間へ変更する。 - 利用率の低い公有資産の有効活用等のため、民間資金、経営能力、技術的能力を活用する。	
維持(更新)	- 適切な修繕等を行いながら建物の機能を維持継続する。 - 耐用年数や劣化状況を踏まえ、更新(建替え)を行い、機能を維持する。	
廃止(売却/譲渡/跡地活用)	- 普通財産等の未利用施設等を廃止し、譲渡、売却、跡地活用等をする。 - 統合、複合化等により不要となった建物の有効活用のため、民間や地域の活力を活用する。	

1. 酒田市における公共施設の現状

2. 酒田市の財政状況

3. 酒田市の公共施設適正化の取り組み

4. これからの公共施設の適正化に向けて

これからの公共施設の適正化に向けて

背景

適正化が進んでいない

公共施設適正化実施方針の第1期(～2027年)では、現実的に民間譲渡や売却が困難な施設(家族旅行村など)が存在し、またミライニや山居倉庫を取得したことにより、施設総量が増加

利用者の減少と大規模改修時期

第2期(2028～2037年)以降も、人口減少の影響で利用率が低下しており、大規模改修が必要な施設も見受けられる

施設コストの増加

人件費、光熱費等の上昇に加え、物価高騰や施設の老朽化が影響し、施設運営にかかるコストが毎年増加

適正化を前倒しすることが必須

公共施設適正化実施方針第1期(2015～2027)未実施施設【25施設】

施設名	機能		建物	未実施の理由等
	方針	現状		
庁舎船場町倉庫	継続	継続	建替え	PCBはR8に処分予定だが、その後も解体建物等から排出される可能性があり、置き場が必要
浜田倉庫	継続	継続	建替え	酒田祭りの獅子(体部分)、神楽用荷台等の置き場
八森窯体験学習施設	譲渡	継続	売却・除却等	利用団体の利用がなくなった。除却を検討する
まいづる荘	廃止	廃止	売却・除却等	売却先なし、除却待ち
広野コミュニティセンター	複合化・統合	一部統合済	売却・除却等	事務機能は農改センターに移転済みだが、学童、広野環境保全会へ貸付中
上田コミュニティ防災センター(屋内運動場)	廃止	継続	売却・除却等	耐震診断未診断だが、稼働率が高い
みどり館	譲渡	継続	売却・除却等	備畑自治会館が維持管理能力がなく譲渡を受けない
大沢農産加工所	譲渡	継続	売却・除却等	利用団体は鳥海南麓の里。ほかの加工所と一緒に条例廃止する方向
観音寺地区農産物加工所	廃止	廃止	売却・除却等	事実上廃止しており、ほかの加工所と一緒に条例廃止する
松山農産物加工所	譲渡	継続	売却・除却等	利用団体はおばこグループとJA。ほかの加工所と一緒に条例廃止する
産直たわわ	譲渡	継続	売却・除却等	たわわ運営団体が払下げを受けない
眺海の森ぐるぐるグリーン	譲渡	廃止	売却・除却等	処分制限R16.3月まで
めんたま畑	譲渡	継続	売却・除却等	めんたま運営団体が払下げを受けない
鳥海高原家族旅行村	譲渡	継続	売却・除却等	譲渡先なし
小林温泉	譲渡	休止	売却・除却等	R4末より指定管理から外れ、休止状態。売却先が見つからない
鳥海地区体育館	複合化・統合	継続	売却・除却等	鳥海八幡中武道場が完成しているため、統合可能だが、剣道の利用ありのため
山小屋	継続	継続	建替え	東高山岳部が維持管理している。除却を検討
八森ゴルフ練習場	譲渡	継続	売却・除却等	敷地の中央に借地あり。貸主の相続手続きがされておらず、抵当権設定あり。市取得後なら、譲渡可能
鳥海ふれあいスポーツクラブハウス	廃止	継続	売却・除却等	toto償還期間R10年まで
大沢コミュニティセンター(分館)	—	廃止	売却・除却等	売却先なし、除却待ち
緑町貸付地(あすなろ作業所)	—	貸付中	売却・除却等	無償貸付を段階的に有償貸付へ移行することで相談済み
旧港南小学校	—	倉庫	売却・除却等	市役所倉庫として使用中
旧中平田小学校	—	廃止	売却・除却等	敷地内にコミセン物置あり
旧第五中学校	—	倉庫	売却・除却等	市役所倉庫として使用中
旧松山中学校	—	廃止	売却・除却等	転用を検討

施設用途	対象施設	方 針
行政施設	本庁舎、 中町庁舎 、庁舎中町二丁目分室(サンロク)、とびしま総合センター、八幡総合支所庁舎、松山総合支所庁舎、平田総合支所庁舎、定期航路事業所、定期航路事業所飛島連絡所	・ 庁舎等は、市民に必要な各種行政サービスを提供する拠点として、市民の利便性を考慮しながら、行政機能の集約と他の公共施設との複合化を進めます。 ・ 中町庁舎は、当面、転用や貸付等の有効活用を行い、将来的には処分します。 ・ その他の支所については、地域の核を担う施設として継続活用を基本とします。ただし、各庁舎で提供している機能に合わせて、適正な施設規模に見直しを行い、余裕スペースの転用や他施設との複合化を進めます。
生涯学習施設	ひらた農村コミュニティカレッジ拠点施設、公益研修センター、 出羽遊心館 、清亀園、八森窯体験学習施設、ひらた生涯学習センター	・ 生涯学習施設は、民間サービスの状況も踏まえ、施設の適正配置を進めることを基本とします。 ・ 施設の利用状況、周辺の集会施設の状況を考慮しながら、統廃合や他の公共施設との複合化を進めます。 ・ 利用者が限定されている施設については、移管を行うなど、運営形態の見直し等により、公共施設としての位置づけの見直しを行います。
集会施設	松山農村環境改善センター、 悠々の杜活性化施設 、中央公民館、交流ひろば、市民会館、酒田勤労者福祉センター、酒田農村環境改善センター、浜中農村研修センター、八幡交流ホール、青沢克雪管理センター、滝の里ふれあい館、平田農村環境改善センター、眺海の森ふれあい研修施設、鳥海南麓管理休養施設、やまもと農村交流センター	・ 集会施設は、多様な市民活動や交流の活性化を図る場として、民間施設の活用も視野に、施設の適正配置を進めることを基本とします。 ・ 各施設の建物状況や配置状況、利用状況を考慮しながら、統廃合や他の公共施設との複合化を進めます。 ・ 利用者が限定されている施設については、移管を行うなど、運営形態の見直し等により、公共施設としての位置づけの見直しを行います。

現在の用途別施設の方針

出典：酒田市公共施設適正化実施方針

施設用途	対象施設	方 針
コミュニティ施設	松原、宮野浦、若浜、富士見、浜田、泉、松陵、港南、琢成、西荒瀬、新堀、広野、浜中、黒森、十坂、東平田、中平田、北平田、上田、本楯、南遊佐、飛島、観音寺、一條、大沢、日向、山寺、松嶺、内郷、南部、田沢、東陽、郡鏡・山谷、南平田、砂越・砂越緑町、北部農民センター、みどり館、亀ヶ崎	・ コミュニティ施設は、地域におけるコミュニティ活動の拠点となる施設であるため、現有施設の継続活用を基本とします。 ・ 施設の建替え時には、地域事情等も考慮しながら、必要に応じて他の公共施設との複合化等も検討します。 ・ 利用が少なく、利用者が限定されている施設については、移管を行うなど、運営形態の見直し等により、公共施設としての位置づけの見直しを行います。
産業振興施設	スマート農業研修センター、とびしまマリンプラザ、大沢農産物加工所、松山農産物加工所	・ 各施設の設置目的と社会ニーズ、利用状況等を検証したうえで、統廃合、民営化や譲渡等を検討します。
直売施設	産直たわわ、眺海の森ぐるぐるグリーン、めんたま畑、悠々の杜直売・食材供給施設	・ 民間との競合や採算性を見ながら、公共サービスとしての必要性を検証した上で、今後のあり方を検討します。 ・ 地域等が主体となり自立して運営されている施設については、民間への移管・譲渡等を検討します。
保養観光施設	さかた海鮮市場、みなと市場、山王くらぶ、日和山交流観光拠点施設、観光物産館、湯の台温泉鳥海山荘、鳥海高原家族旅行村、八森温泉ゆりんこ、眺海の森施設、小林温泉、悠々の杜温泉施設	・ 公共サービスとしての必要性や利用状況、経営状況に加え、周辺の民間施設の状況を考慮しながら、継続活用か、地域や民間への移管、譲渡、廃止等を検討します。 ・ 歴史的建造物については、適正に保存します。

施設用途	対象施設	方 針
文化施設	旧燈屋、赤字土門拳記念館、酒田市美術館、松山文化伝承館、旧阿部家、文化資料館光丘文庫	- 利用状況、施設の特性、歴史的価値等を考慮しながら、継続活用または他の公共施設との複合化、統廃合等を検討します。 - 文化財に指定されている歴史的建造物は、維持・保存するとともに、歴史的・文化的価値を有する施設については、適切に保存します。
図書館	中央図書館、八幡分館、松山分館、ひらた図書センター	図書館は市による機能の継続を基本としますが、主とする建物の状況を踏まえ、必要とされる機能、利用状況、地域性を考慮しながら、他の施設との複合化や統廃合を検討します。
スポーツ・レクリエーション施設	親子スポーツ会館、光ヶ丘プール、光ヶ丘野球場、光ヶ丘野球場屋内練習場、光ヶ丘テニスコート、光ヶ丘陸上競技場、光ヶ丘多目的グラウンド、光ヶ丘球技場、国体記念テニスコート、勤労者体育センター、亀ヶ崎記念会館、武道館、相撲場、飯森山多目的グラウンド、国体記念体育館、南体育館、鳥海地区体育館、南遊佐グラウンドゴルフ場、山小舎、鳥海ふれあいスポーツクラブクラブハウス、八森サッカー場、八森ゴルフ練習場、八森キャンプ場、八森グラウンドゴルフ場、八森パークゴルフ場、八森テニスコート、八森野球場、八幡体育館、松山体育館、松山スキー場、外山キャンプ場、松山多目的運動広場、平田B＆G海洋センタープール、平田B＆G海洋センター体育館、平田体育館、眺海の森グラウンド、平田B＆G海洋センターヨットカヌー場、高畑グラウンドゴルフ場	- 利用状況や施設の特性、類似施設の近接状況などを考慮しながら、市域全体で施設の集約及び適正配置を進めます。 - 集約及び適正配置に際しては、民間の代替施設の有無、学校施設の有効活用を含めて検討します。

施設用途	対象施設	方 針
保健福祉施設	酒田市民健康センター、身体障害者福祉センター、酒田市はまなし学園、八幡保健センター、松山健康福祉センター、平田健康福祉センター、赤字にぎわい健康プラザ	・ 施設の特性を考慮しながら、複合化、多機能化を進めます。
保育園	松陵保育園、みなと保育園、八幡保育園、松山保育園、平田保育園	・ 民間施設を含め、園児数の推移を考慮し、施設の適正化を進めます。
子育て支援施設	松陵学区学童保育所、琢成学区学童保育所、浜田学区学童保育所、若浜学区第1・第2学童保育所、富士見学区学童保育所、宮野浦学区第1・第2学童保育所、泉学区第1・第2学童保育所、十坂学区学童保育所、平田学区学童保育所、南平田学童保育所、松原学区第1・第2学童保育所、亀ヶ崎学区第1・第2学童保育所、児童センター	・ 学童保育所は、小学校の学区改編に併せて配置を見直します。建替え時には、学校の空き教室など、他の公共施設との複合化を進めます。
駐車場	中央地下駐車場、赤字にぎわい健康プラザ(駐車場)	・ 利用者ニーズや収益性、周辺の民間施設の状況を考慮しながら、公共サービスとしての必要性を再検証し、運営権の譲渡(コンセッション方式)、民営化等について検討します。
斎場・墓苑	酒田市斎場、やすらぎ霊園管理事務所	・ 斎場は、施設の必要性及び利用状況を踏まえ、効率的な運営方法を検討します。
その他の施設	酒田看護専門学校、酒田市教育研修センター、酒田市教育相談室、移住お試し住宅、旧鳥海小学校、松山城址館	・ 看護専門学校は、庄内地域における看護師育成のための要の施設として、継続活用を基本とします。ただし、近隣の看護学校(鶴岡市立荘内看護専門学校、民間の看護学校)等と連携するなど、効率的な運営方法を検討します。

基本方針

- ① 体育施設を種目・機能別に分類し、大会開催等のために必要な施設に集約化していきます
- ② 利用ニーズがあっても耐震化が難しい等やむをえない理由で廃止する場合は、他の体育施設、公共施設又は民間施設で代替できるようにします
- ③ 広域的な利用ニーズがある施設や機能は、県に対し整備の検討を要望します
- ④ 近隣自治体を含めた、スポーツ施設の相互利用や、広域的な連携体制のあり方を検討します

施設用途	長期的な方向性
体育館	○ 国体記念体育館は、全国規模の大会が開催可能な「拠点体育館」として維持し、各地域（総合支所管内）体育館は、小中学校の地区大会等が可能な「準拠点体育館」として維持します 【八幡地域】八幡体育館を準拠点体育館として維持します 【松山地域】地域内に体育館は維持しますが、学校跡地体育館等、活用できる体育館が多数あり、今後検討が必要です 【平田地域】平田B&G海洋センター体育館を準拠点体育館として維持します
武道館	○ 武道館は、大会が開催可能な施設として維持します。各地域の練習場は、統廃合又は学校施設へ機能を移管します
野球場	○ 野球場は、大会開催可能な「光ケ丘野球場」に機能を集約します
サッカー・ラグビー場	○ 八森サッカー場は、光ケ丘球技場を人工芝化したことにより、利用率が低下していることから、パークゴルフ場として活用します。
テニスコート	○ テニスコートは、大会開催可能な「光ケ丘テニスコート」及び「国体記念テニスコート」に機能を集約し、空港緑地テニスコートも活用します ○ 「八森テニスコート」及び「眺海の森テニスコート」は、コートが使用できなくなった時点で機能を廃止します
スキー場等	○ 全国的なスキー人口の減少、温暖化による降雪状況の変化に伴う開設時期の短縮等を踏まえ、「松山スキー場」に集約することを検討します
グラウンドゴルフ場	グラウンドゴルフ場は、高齢者の健康増進施設として、現有施設を維持していきます
プール	○ 民間施設も整備されており、大会開催可能な「光ケ丘プール」に機能を集約します。なお、小学生の利用は、南平田小学校プールの利用方法と合わせて検討します
キャンプ場	○ キャンプ場は、他公共施設や民間施設も整備されており、全ての施設を廃止します ○ 【代替施設：八森キャンプ場→鳥海高原家族旅行村、外山キャンプ場→民間施設】

赤字：懇談会対象施設

公共施設適正化懇談会のゴール(案)

- 「これからの公共施設の方向性」の策定にあたっては、個別施設を具体的に検討しないとイメージがつきにくく、議論が深まりにくいことが予想されるため、施設用途ごとに建築年が古く、行政コストが高いなど、**適正化の効果が見込まれる施設を市内全域から抽出**します。
- 2回目以降、適正化案を比較しながら、「**これからの公共施設の方向性**」(**基本的な考え方**)を**検討**します。
- 施設を減らすことが目的ではなく、施設の複合化や統廃合などで、より効果的に施設を活用することが前提

施設用途ごとに抽出 1回目

施設用途	施設名
行政施設	中町庁舎
保健福祉施設	酒田市民健康センター 中町にぎわい健康プラザ

適正化案の提示(例:中町にぎわい健康プラザ) 2回目

案	①健康増進施設で継続	②市民健康センターを移転
経費	コスト ●億円	コスト ◆億円
ポイント	● 現利用者が引き続き利用でき、混乱が少ない ● 健康増進機器の更新費用が必要となり経費がかかる	● 津波浸水想定区域から移転 ● 市民健康センターは廃止後、譲渡 ● 集いのスペースは廃止

委員の意見を踏まえて検討 3回目

施設用途	対象施設	方針(現在)	これからの公共施設の方向性(例)
保健福祉施設	市民健康センター、身体障害者福祉センター、はまなし学園、八幡保健センター、松山健康福祉センター、平田健康福祉センター、中町にぎわい健康プラザ	● 施設の特性を考慮しながら、複合化、多機能化を進めます。	● 民間で提供されているサービスは、公共としての必要性を再評価し、継続の可否を判断します。

市全体の個別施設に関する具体的な方向性(手法や実施時期など)は、市が取りまとめます

対象施設一覧

施設の用途ごとに、建築年の古さ、稼働率の低さ、行政コストの高さといった課題を抱える施設の中から、適正化による効果が見込まれるものを市内全域から抽出し、検討を進めます。

No.	施設名称	施設用途	建築年	経過年数	構造	耐震性能	避難所指定	延床面積 (㎡)	稼働率 (%)※1	利用延べ人数 (人)※1	行政コスト (円)※1	収入(円)※1
1	中町庁舎	行政	1988	37	鉄骨鉄筋コンクリート造	あり	○	3,916.07	-	-	31,936,988	9,393,997
2	出羽遊心館	生涯学習	1994	31	木造	あり	-	1,230.00	7	7,758	21,687,054	2,409,310
3	スマート農業研修センター	産業系	1991	34	鉄骨造	あり	-	563.21	15	3,720	5,487,744	94,300
4	土門拳記念館	文化	1983	42	鉄筋コンクリート造	あり	-	2,053.93	-	22,290	55,133,500	0
5	湯の台温泉鳥海山荘	保養観光	2002	23	鉄筋コンクリート造	あり	○	2,278.58	59	21,551	14,759,569	0
6	鳥海高原家族旅行村		1985	40	木造	あり	○	3,123.47	31	9,553	8,648,293	0
7	八森温泉ゆりんこ		1996	29	鉄筋コンクリート造	あり	-	1,254.98	20	147,051	12,777,634	30,100
8	悠々の杜温泉施設		2005	20	木造	あり	-	826.73	-	95,605	23,168,447	0
	悠々の杜(直売・食材供給施設)	産業系	2005	20	木造	あり	-	205.36	100	43,264	233,280	0
	悠々の杜活性化施設	集会	2005	20	木造	あり	-	717.12	12	3,139	5,586,000	0
9	親子スポーツ会館	スポーツ・レクリエーション施設	1980	45	鉄骨造	なし	○	2,640.63	59	35,240	12,661,190	3,172,778
10	松山体育館		1977	48	鉄骨造	なし	○	1,516.80	46	7,918	3,045,443	499,268
11	八森キャンプ場		1988	37	木造	-	-	139.25	-	287	806,143	0
12	外山キャンプ場		1979	46	木造	-	-	90.35	-	960	2,085,076	236,600
13	市民健康センター	保健福祉	1986	39	鉄筋コンクリート造	あり	-	4,603.82	46	6,924	19,530,337	1,227,311
14	身体障害者福祉センター		1983	42	鉄骨造	あり	-	442.30	22	4,900	5,146,600	1,500
15	中町にぎわい健康プラザ		1992	33	鉄骨造	あり	-	1,076.06	16	46,220	56,391,040	7,883,985

※1:2023(令和5)年度。行政コストは常勤職員の人件費及び工事請負費を除き、事業運営費を含む

対象施設配置状況

(注)本資料の施設は、適正化の対象ではなく、懇談会での議論用に抽出したサンプルです



(参考)大規模改修の優先度(2022年9月時点)

優先順位	施設名	建築年度	築年数	評価点
1	南体育館	S63	34	488.3
2	ひらた生涯学習センター	S55	42	398.5
3	平田総合支所庁舎	S59	38	395.6
4	酒田勤労者福祉センター	S59	38	315.1
5	平田B&G海洋センターヨットカヌー場	S62	35	303.6
6	富士見学区コミュニティ防災センター	H3	31	288.4
7	松山体育館	S51	46	262.3
8	親子スポーツ開館	S54	43	250
9	平田B&G海洋センター体育館	S62	35	258
10	松原コミュニティ防災センター	S60	37	253.3
11	平田体育館	S45	52	250.6
12	浜中コミュニティセンター	S62	35	243.8
13	身体障害者福祉センター	S57	40	235.8
14	若浜学区コミュニティ防災センター	H2	32	230.0
15	北平田コミュニティセンター	H2	32	221.8
16	亀ヶ崎記念会館	S62	35	210
17	スマート農業研修センター	H2	32	204.2
18	酒田看護専門学校	H7	27	196.7
19	東平田コミュニティ防災センター	H6	28	185.9
20	松嶺コミュニティセンター	S63	34	185.8

優先順位	施設名	建築年度	築年数	評価点
21	黒森コミュニティセンター	S60	37	181.0
22	光ヶ丘テニスコート	H1	33	176.7
23	眺海の森ふれあい研修施設	H1	33	175.8
24	浜中農村研修センター	S60	37	173.3
25	勤労者体育センター	S56	41	171.7
26	宮野浦学区コミュニティ防災センター	S62	35	169.1
27	土門拳記念館	S58	39	167.6
28	酒田市民健康センター	S61	36	167
29	とびしまマリンプラザ	H3	31	163.5
30	酒田市中央公民館	S56	41	152.9
31	出羽遊心館	H6	28	152.3
32	北部農民センター	S59	38	148.4
33	新堀コミュニティ防災センター	H7	27	148.3
34	松山健康福祉センター	H5	29	147.8
35	酒田農村環境改善センター	H9	25	135.9
36	平田B&G海洋センタープール	S62	35	128.3
37	泉学区コミュニティ防災センター	H9	25	121.7
38	松山文化伝承館	S56	41	107.5

※小中学校を除く

※公共施設適正化実施方針第3・4期の施設のみ

対象施設の状況

(注)本資料の施設は、適正化の対象ではなく、懇談会での議論用に抽出したサンプルです

(1)中町庁舎

【総務課】

		分類	行政施設	運営方法	直営
		所在地	中町一丁目4-6	稼働率(%)	-
		建築年度 (経過年)	1988 (37)	利用延べ人数(人)	-
		延床面積 (㎡)	3,916.07	行政コスト (円)	31,936,988 (2023年度)
施設概要		・ 本庁舎とは別の場所で市の業務を行うために設置			
配置・機能	現状	・ 本庁舎の建替え後は、行政財産としての用途を廃止し、普通財産への転用を想定していた。しかしその後、光丘文庫や山形労働局などが入居したことにより、引き続き行政財産として管理することとなり、以降、入居者が徐々に増加し、現在に至っている			
	課題	・ 【現在の入居者】1階：民間企業、2階：山形県・中小企業団体中央会、ジョブプラザさかた、3階：市交流観光課ふるさと納税係、6階：(一財)酒田DMO			
今後の方向性		・ 【公共施設適正化実施方針】当面、転用や貸付等の有効活用を行い、将来的には処分			

(2)出羽遊心館

【社会教育課】

		分類	生涯学習施設		運営方法	直営										
		所在地	飯森山三丁目17-86		稼働率(%)	11										
		建築年度 (経過年)	1994 (31)		利用延べ人数(人)	10,904										
		延床面積 (㎡)	1,230.00		行政コスト (円)	21,687,054 (2023年度)										
施設概要		- 市民に憩いとふれあいの場を提供するとともに、文化活動を推進し、潤いと心豊かな市民生活及び文化の向上に寄与するため設置 - 設計は京都の茶室建築の第一人者である中村昌生氏が手がけ、金山杉や北山杉などの天然木材をふんだんに使用														
配置・機能	現状	利用延べ人数<table><tr><td>2020年度</td><td>2021年度</td><td>2022年度</td><td>2023年度</td><td>2024年度</td></tr><tr><td>4,011人</td><td>4,517人</td><td>5,182人</td><td>7,758人</td><td>10,904人</td></tr></table>					2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	4,011人	4,517人	5,182人	7,758人	10,904人
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度											
4,011人	4,517人	5,182人	7,758人	10,904人												
課題	- 建築から31年以上が経過しており、各種設備等は耐用年数を超過するなど老朽化が激しい - 広間の雨戸、濡れ縁等が経年劣化で老朽化が進み、要修繕															
今後の方向性		【社会教育文化施設整備方針】コロナ感染症の影響により、利用者数に大きく影響を与えている。今後利用拡大のための活用(方策)を探っていくとともに、今後の施設の在り方について検討する必要がある 【公共施設適正化懇談会】新たな使い方を促すなど利用促進に努め、一定の効果が見られない場合は2027(令和9)年度に施設の在り方も検討する必要がある														

(3)スマート農業研修センター【農政課】

		分類	産業系施設		運営方法	指定管理										
		所在地	大宮町四丁目9-3		稼働率(%)	15(2023年度)										
		建築年度 (経過年)	1991 (34)		利用延べ人 数(人)	3,986 (うち選挙3,000)										
		延床面積 (㎡)	563.21		行政コスト (円)	5,487,744 (2023年度)										
施設概要		1991(平成3)年に旧「庄内バイオセンター」として設置。 2019(令和元)年度からは、スマート農業を含む農業全般 について、研修・講演・研究等を行う施設として運用 「酒田もっけ田農学校」の拠点としても機能しており、稲作 の基礎からスマート農業技術までを学べるカリキュラムを 提供														
配置・ 機能	現状	利用延べ人数 <table><tr><td>2020年度</td><td>2021年度</td><td>2022年度</td><td>2023年度</td><td>2024年度</td></tr><tr><td>558人</td><td>626人</td><td>2,315人 (うち選挙1,500)</td><td>3,720人 (うち選挙3,010)</td><td>3,986人 (うち選挙3,000)</td></tr></table>					2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	558人	626人	2,315人 (うち選挙1,500)	3,720人 (うち選挙3,010)	3,986人 (うち選挙3,000)
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度											
558人	626人	2,315人 (うち選挙1,500)	3,720人 (うち選挙3,010)	3,986人 (うち選挙3,000)												
課題	- 躯体は鉄骨造のため特段の問題はないものの、建築から 34年以上が経過し、大規模改修の時期が近付いている - 何度も雨漏りが発生していることや、床タイルの割れなど、 経年劣化による修繕が多くなっている															
今後の方向性		【公共施設適正化実施方針】設置目的と社会ニーズ、利用 状況等を検証した上で、統廃合、民営化や譲渡等を検討														

(4)土門拳記念館【文化政策課】

		分類	文化施設		運営方法	指定管理	
		所在地	飯森山二丁目13		稼働率(%)	-	
		建築年度 (経過年)	1983 (42)		利用延べ人 数(人)	21,962	
		延床面積 (㎡)	2,053.93		行政コスト (円)	70,230,465	
施設概要		- 世界的写真家・土門拳氏(1909年酒田市生まれ)の全作品13.5万点の寄贈を受け、日本初の写真専門美術館として設置 - 建物の設計は谷口吉生氏が担当し、中庭の彫刻はイサム・ノグチ氏、銘板・年譜は亀倉雄策氏、造形設計・オブジェは勅使河原宏氏と、各分野の著名な芸術家が関わっている					
配置・機能	現状	利用延べ人数	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
		土門拳記念館	9,781人	13,925人	19,091人	22,290人	21,962人
	(参考)市美術館	26,533人	37,619人	35,392人	41,997人	50,020人	
	課題	- 大規模改修の時期が近付いているが、非常に高額な費用が想定される - 酒田市美術館も2026(令和8)年度に大規模改修が予定されており、両方改修することは財政的に非常に困難					
今後の方向性		【公共施設適正化実施方針】各施設の特長、歴史的価値等を踏まえて、広域的に適正な施設の配置や規模、運営形態等について検討する必要がある					

(5)湯の台温泉鳥海山荘

【交流観光課】

		分類	保養観光施設		運営方法		指定管理											
		所在地	草津字湯ノ台66-1		稼働率(%)		59(2023年度)											
		建築年度 (経過年)	2002 (23)		利用延べ人数(人)		19,587											
		延床面積 (㎡)	2,278.58		行政コスト (円)		14,759,569 (2023年度)											
施設概要		・ 標高約500メートルの鳥海山南麓に位置する温泉宿泊施設で、雄大な自然と温泉を楽しめる																
配置・機能	現状	・ 利用延べ人数 <table><tr><td>2020年度</td><td>2021年度</td><td>2022年度</td><td>2023年度</td><td>2024年度</td></tr><tr><td>17,977人</td><td>20,247人</td><td>21,545人</td><td>21,551人</td><td>19,587人</td></tr></table>							2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	17,977人	20,247人	21,545人	21,551人	19,587人
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度													
	17,977人	20,247人	21,545人	21,551人	19,587人													
課題	・ 建築後20年以上を経過するため、今後の老朽化対策を検討する必要がある(2025年4～6月空調設備工事のため休館) ・ 関心を示す民間事業者があれば、民間への譲渡を検討する。ただし、当該施設は国定公園内に位置しているため、課題や調整事項が生じることが想定される																	
今後の方向性		・ 【公共施設適正化実施方針】公共サービスとしての必要性や利用状況、経営状況に加え、周辺の民間施設の状況を考慮しながら、継続活用か、民間への移管、譲渡、廃止等を検討																

(6)鳥海高原家族旅行村

【交流観光課】

		分類	保養観光施設		運営方法		指定管理											
		所在地	草津字湯ノ台149		稼働率(%)		31(2023年度)											
		建築年度 (経過年)	1985 (40)		利用延べ人 数(人)		8,141											
		延床面積 (㎡)	3,123.47		行政コスト (円)		8,648,293 (2023年度)											
施設概要		・ 豊かな自然環境の中で、家族やグループで楽しめる多彩なアクティビティや宿泊ができる																
配置・機能	現状	<table><tr><td>2020年度</td><td>2021年度</td><td>2022年度</td><td>2023年度</td><td>2024年度</td></tr><tr><td>6,518人</td><td>9,487人</td><td>8,318人</td><td>9,553人</td><td>8,141人</td></tr></table>							2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	6,518人	9,487人	8,318人	9,553人	8,141人
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度													
	6,518人	9,487人	8,318人	9,553人	8,141人													
課題	・ 建築から40年以上が経過し、老朽化が進んでいることから、今後の対応として除却(廃止)を含めた検討が必要																	
今後の方向性		・ 【公共施設適正化実施方針】公共サービスとしての必要性や利用状況、経営状況に加え、周辺の民間施設の状況を考慮しながら、継続活用か、民間への移管、譲渡、廃止等を検討																

(7)八森温泉ゆりんこ【交流観光課】

		分類	保養観光施設		運営方法	指定管理										
		所在地	麓字緑沢29-8		稼働率(%)	20(2023年度)										
		建築年度 (経過年)	1996 (29)		利用延べ人 数(人)	149,081										
		延床面積 (㎡)	1,254.98		行政コスト (円)	12,777,634 (2023年度)										
施設概要		・ 旧八幡町の温浴施設で、旧八幡町の第三セクターが指定管理者														
配置・ 機能	現状	・ 利用延べ人数 <table><tr><td>2020年度</td><td>2021年度</td><td>2022年度</td><td>2023年度</td><td>2024年度</td></tr><tr><td>125,701人</td><td>138,769人</td><td>141,554人</td><td>147,051人</td><td>149,081人</td></tr></table>					2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	125,701人	138,769人	141,554人	147,051人	149,081人
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度											
	125,701人	138,769人	141,554人	147,051人	149,081人											
課題	・ 設備が全体的に老朽化しており、数年以内に大規模な設備投資が発生するサイクルが始まる															
今後の方向性		・ 【公共施設適正化実施方針】温浴施設については、旧町施設をそのまま引き継いでいるため、利用圏域が重複しており、今後の在り方を見直す必要がある														

(8)悠々の杜(活性化施設、直売・食材供給・温泉)【交流観光課】

		分類	保養観光施設		運営方法	指定管理	
		所在地	山楯字南山32-4		稼働率(%)	-	
		建築年度 (経過年)	2005 (20)		利用延べ人 数(人)	84,686	
		延床面積 (㎡)	1,749.21		行政コスト (円)	28,987,727 (2023年度)	
施設概要		- 旧平田町の温浴施設で、第三セクターが指定管理者 - 温浴施設、直売・食材供給施設、活性化施設に区分されている					
配置・ 機能	現状	利用延べ人数	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
		温泉	88,680人	92,063人	95,526人	95,605人	84,686人
		直売・食材供給	35,294人	39,157人	41,578人	43,264人	41,935人
		活性化	3,747人	3,434人	3,723人	3,139人	2,646人
	課題	2024(令和6)年度に設備の中でも高額なボイラーを更新したものの、継続して設備更新を行う必要がある - 源泉が深く、施設から遠いため、その分必要な設備が多い。また、泉質により配管が詰まりやすいなど、ランニングコストがかかり増しする					
今後の方向性		【公共施設適正化実施方針】温浴施設については、旧町施設をそのまま引き継いでいるため、利用圏域が重複しており、今後の在り方を見直す必要がある					

(9)親子スポーツ会館

【スポーツ振興課】

		分類	スポーツ・レクリエーション施設		運営方法	直営										
		所在地	光ヶ丘二丁目1-25		稼働率(%)	59(2023年度)										
		建築年度(経過年)	1980(45)		利用延べ人数(人)	34,425										
		延床面積(m ²)	2,640.63		行政コスト(円)	12,661,190(2023年度)										
施設概要		- 合宿所は1968年完成(42名収容) 1991年山形県から酒田市へ移管														
配置・機能	現状	利用延べ人数 <table><tr><td>2020年度</td><td>2021年度</td><td>2022年度</td><td>2023年度</td><td>2024年度</td></tr><tr><td>30,458人</td><td>33,821人</td><td>33,950人</td><td>35,240人</td><td>34,425人</td></tr></table>					2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	30,458人	33,821人	33,950人	35,240人	34,425人
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度											
30,458人	33,821人	33,950人	35,240人	34,425人												
課題	耐震診断の結果、耐震補強工事が必要となっているが、建物が傾斜地に近接していることから、一般の建物より高い耐震性が必要となる															
今後の方向性		【体育施設整備方針】傾斜地への対策も含めた耐震改修を検討する 【公共施設適正化実施方針】国体記念体育館に集約する(2038～2047年度)更新時期到来後の建替えは行わない														

(10)松山体育館

【スポーツ振興課】

		分類	スポーツ・レクリエーション施設		運営方法	直営										
		所在地	字内町6-2		稼働率(%)	46(2023年度)										
		建築年度(経過年)	1977(48)		利用延べ人数(人)	7,572										
		延床面積(m ²)	1,516.80		行政コスト(円)	3,045,443(2023年度)										
施設概要		・ 旧松山町の拠点体育館として設置														
配置・機能	現状	<table><tr><td>2020年度</td><td>2021年度</td><td>2022年度</td><td>2023年度</td><td>2024年度</td></tr><tr><td>4,139人</td><td>4,851人</td><td>5,670人</td><td>7,918人</td><td>7,572人</td></tr></table>					2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	4,139人	4,851人	5,670人	7,918人	7,572人
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度											
4,139人	4,851人	5,670人	7,918人	7,572人												
課題	・ 耐震補強未実施 ・ 床にたるみや隙間、玄関及び用具室等で雨漏りの痕跡がある。さらに、外壁の浮きや剥離があり、非常扉の開閉困難など建築から48年が経過し、大規模改修が必要な時期であるが、多額の改修費が想定されている															
今後の方向性		・ 【体育施設整備方針】(長期的な方向性)地域内に体育館は維持するが、学校跡地体育館等、活用できる体育館が多数あり、今後検討が必要 (2029年までの方向性)学校跡地体育館等の利活用案を踏まえ検討														

(11)八森キャンプ場【スポーツ振興課】

		分類	スポーツ・レクリエーション施設		運営方法	指定管理										
		所在地	市条字八森922-1		稼働率(%)	-										
		建築年度 (経過年)	1988 (37)		利用延べ人数(人)	292										
		延床面積 (㎡)	139.25		行政コスト (円)	806,143 (2023年度)										
施設概要		・ 八森自然公園内に設置されたキャンプ施設 ・ 設備:テントサイト15箇所、炊事場1棟(窯数5個)、バンガロー2棟														
配置・機能	現状	・ 使用料	テント持込1張		1回につき770円											
			炊事施設		1箇所につき770円											
			バンガロー1棟	宿泊3,850円												
	休憩2,750円															
課題	・ 利用延べ人数	<table><tr><td>2020年度</td><td>2021年度</td><td>2022年度</td><td>2023年度</td><td>2024年度</td></tr><tr><td>103人</td><td>274人</td><td>308人</td><td>287人</td><td>292人</td></tr></table>					2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	103人	274人	308人	287人	292人
		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度										
		103人	274人	308人	287人	292人										
今後の方向性		・ 【体育施設整備方針】(長期的な方向性)他公共施設や民間施設も整備されており、全ての施設を廃止 代替施設:「八森キャンプ場 ➡ 鳥海高原家族旅行村」														

(12)外山キャンプ場【スポーツ振興課】

		分類	スポーツ・レクリエーション施設		運営方法	直営										
		所在地	字外山越29-1		稼働率(%)	-										
		建築年度(経過年)	1979(46)		利用延べ人数(人)	947										
		延床面積(m ²)	90.35		行政コスト(円)	2,085,076(2023年度)										
施設概要		- 眺海の森内に設置されたキャンプ施設 - 設備:テントサイト30箇所、炊事場(上水道)2棟、アートスペース4棟、遊具12種、広場3、WC1棟(男女別・水洗)														
配置・機能	現状	使用料	高校生以下		1人1回につき130円											
			一般		1人1回につき260円											
	課題	利用延べ人数	<table><tr><th>2020年度</th><th>2021年度</th><th>2022年度</th><th>2023年度</th><th>2024年度</th></tr><tr><td>702人</td><td>758人</td><td>1,290人</td><td>960人</td><td>947人</td></tr></table>					2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	702人	758人	1,290人	960人
2020年度			2021年度	2022年度	2023年度	2024年度										
702人	758人	1,290人	960人	947人												
今後の方向性		【体育施設整備方針】(長期的な方向性)他公共施設や民間施設も整備されており、全ての施設を廃止 代替施設:「外山キャンプ場 ➡ 民間施設」														

(13)市民健康センター

【健康課】

		分類	保健福祉施設	運営方法	直営
		所在地	船場町二丁目1-30	稼働率(%)	46(2023年度)
		建築年度 (経過年)	1986 (39)	利用延べ人 数(人)	6,924 (2023年度)
		延床面積 (㎡)	4,603.82	行政コスト (円)	19,530,337 (2023年度)
施設概要		・ 乳幼児・住民健診など市民の健康保持増進を目的に設置			
配置・ 機能	現状	乳幼児健診、マタニティ教室など		年119回	
		住民健診(成人)		年13回	
	課題	・ 市民健康センターは、津波浸水想定区域に立地しており、地表面からの基準水位は0.5～3.0m、到達時間は約15分			
		・ 県からの借地の賃借料(776㎡)は、休日診療所及び地区医師会事務室として使用しているため、免除されているが、今後、用途を廃止する場合は、免除されない可能性がある			
今後の方向性		・ 本館は2002(平成14)年度に冷暖房設備を更新してから、23年経過しており、このまま使用を継続する場合、給排水設備、電気設備、消防設備等を含めた施設全体の大規模改修工事が必要になる			
		・ 【公共施設適正化実施方針】施設の特性を考慮しながら、複合化、多機能化を進める			
		・ 【総合計画後期計画】本館及び別館は1986年と1987年に建築され老朽化が進んでおり、付帯設備は耐用年数を大幅に経過。津波浸水区域外への移転も含めた検討が必要			

(14)身体障害者福祉センター

【地域福祉課】

		分類	保健福祉施設	運営方法	指定管理
		所在地	北今町3-8	稼働率(%)	22(2023年度)
		建築年度 (経過年)	1983 (42)	利用延べ人 数(人)	4,900 (2023年度)
		延床面積 (㎡)	442.30	行政コスト (円)	5,146,600 (2023年度)
施設概要		・ 無料又は低額な料金で身体障がい者への各種相談に応じ、機能訓練、教養の向上、社会との交流の促進及びレクリエーションのための便宜を総合的に供給			
配置・機能	現状	・ 耐震性は確保されている ・ 市委託事業実施のため、バス、ハイエース(いずれも市公用車)を酒田市障がい者福祉会(指定管理者兼)が管理、運行している。			
	課題	・ 建築から40年以上経過し、老朽化により修繕箇所が増す傾向にある ・ 駐車スペースが十分でなく、またバリアフリー化もされておらず、利用者の増加に応えられない			
今後の方向性		・ 【公共施設適正化実施方針】施設の特性を考慮しながら、複合化、多機能化を進める			

(15)中町にぎわい健康プラザ【健康課】

		分類	保健福祉施設	運営方法	直営
		所在地	中町二丁目4-12	稼働率(%)	16(2023年度)
		建築年度(経過年)	1992(33)	利用延べ人数(人)	51,248
		延床面積(m ²)	1,076.06	行政コスト(円)	59,465,574
施設概要		市民の健康の増進及び交流を図り、中心市街地の活性化に寄与するため、旧共栄ビルを改修し、2017年4月9日に開設			
配置・機能	現状	中町にぎわい健康プラザ設置後、市内に類似するフィットネスジム等が開設(プラザを除いて15施設)され、市民が自ら運動に取り組むことができる環境が一定程度整備されてきている。一方、利用者は一定数存在している			
	課題	- 中町にぎわい健康プラザ1階を大規模改修した場合、約20年活用することは可能。ただし、2022年度の駐車場大規模改修において、未実施の東西の外壁工事及び2～5階の床防水工事を行うことが望ましい - 集いのスペース及び駐車場のエリアは、社会資本整備総合交付金が交付されているため、整備時は国に要確認			
今後の方向性		【公共施設適正化実施方針】施設の特性を考慮しながら、複合化、多機能化を進める マシンスペースの部分はマシンの長期継続契約が終了する2026(令和8)年度(開設10年目)をもって終了。以降の活用は全庁的な合意形成を図る			

利用延べ人数等

エリア名	2023年度	2024年度	面積※1
マシンスペース	21,380人	25,328人	728.72㎡
多目的スペース	9,240人	10,843人	
集いのスペース	15,600人	15,077人	239.96㎡
駐車場	35,637台	40,910台	5,816.99㎡

※1:共用部分(エレベーター、駐車場)159.83㎡除く

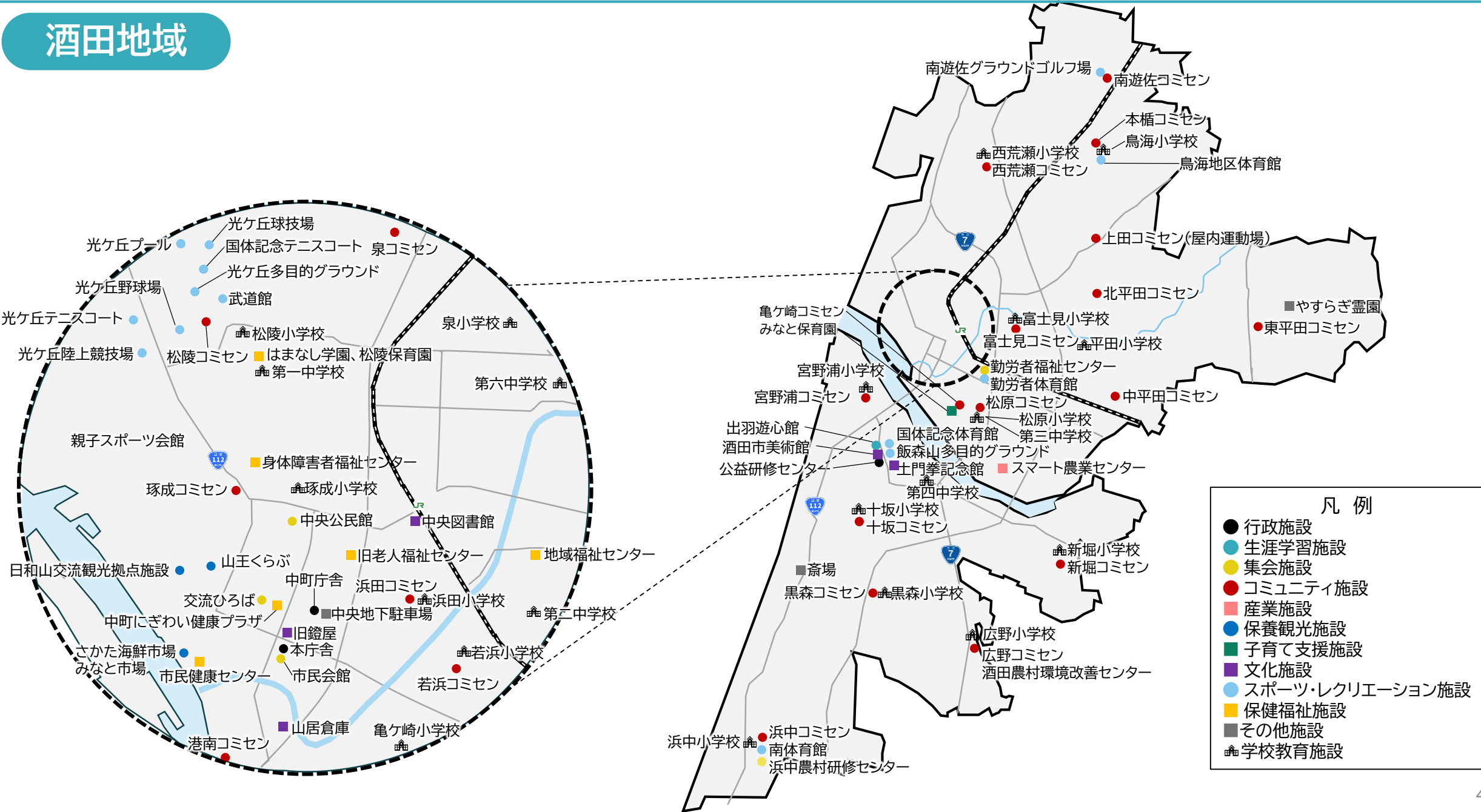
収支状況

(単位:円)

収支状況	2023年度	2024年度
燃料費	476,388	578,646
光熱水費	6,425,425	6,208,283
消耗品費、修繕料	913,750	1,867,483
役務費、使用料	880,741	896,306
施設管理委託料	30,020,826	30,020,826
借上料(マシン等)	6,470,640	6,470,640
借上料(駐車場)	11,203,270	13,423,390
支出計	56,391,040	59,465,574
収入	7,883,985	8,612,158

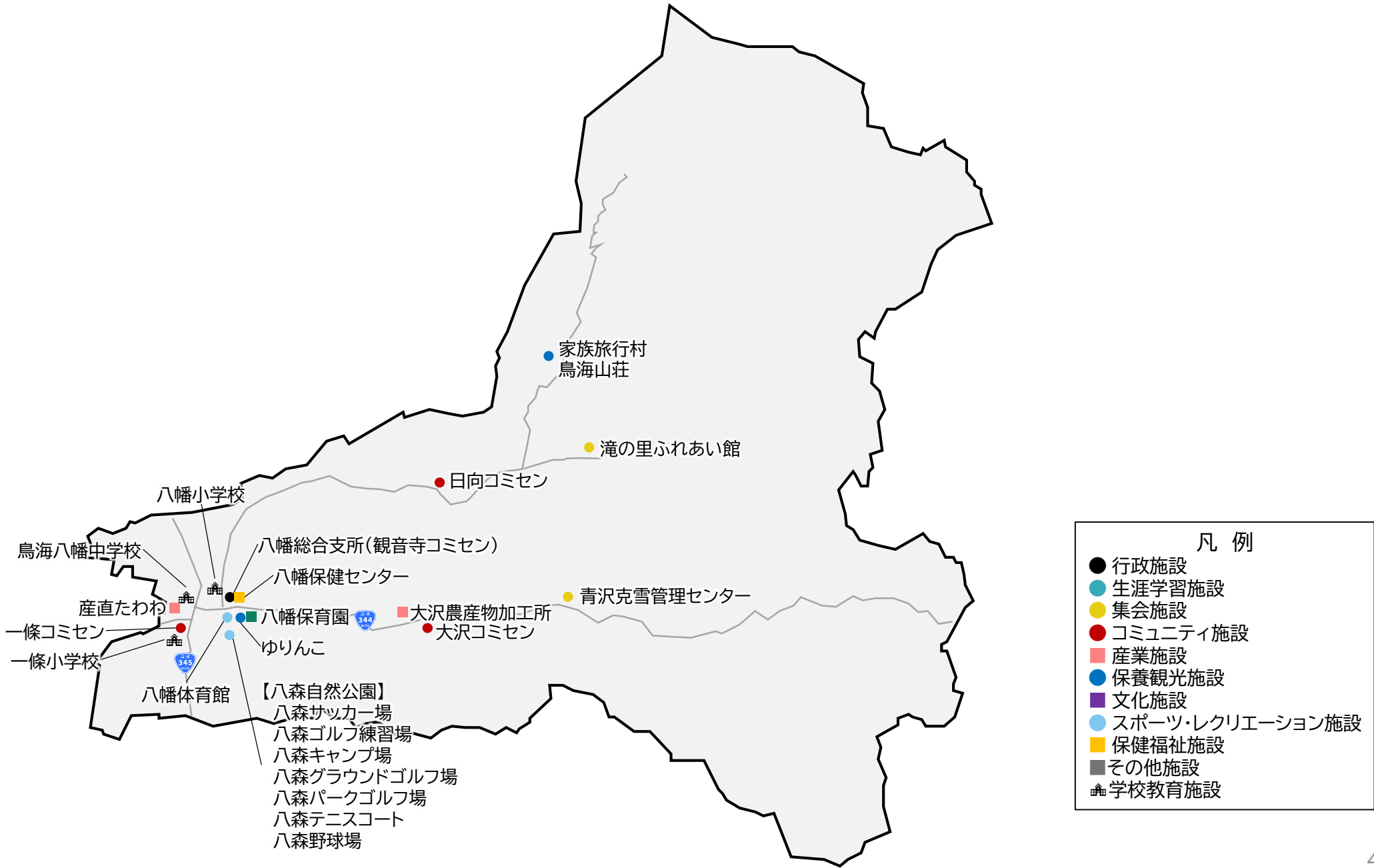
主な公共施設の分布図<1>

酒田地域



主な公共施設の分布図<2>

八幡地域



主な公共施設の位置図<3>

松山地域、平田地域

